

農林水産部



説明会場の様子

現在、農林水産省等では、原発事故の影響により揺らいでいる日本食の価値の回復・向上を図るため、「日本食文化のユネスコ世界無形遺産への登録を目指す」「日本食文化の世界遺産化プロジェクト」を進めています。

世界無形遺産の登録の実現に向けては国民的な盛り上がりが必要であることから、昨年10月28日に、本プロジェクトの検討状況やその内容についての沖縄ブロック説明会を開催しました。



農林水産省担当者による説明

当日は、県や市町村、各種団体等多くの方々が来場し、農林水産省の担当者から本プロジェクトについての説明が行われた後、意見交換がなされました。

意見交換では、「日本食文化に沖縄は含まれるのか」、「沖縄の食文化は本土の食文化とは異なるが、日本食文化の郷土料理の一つとして捉えればいいのではないか。」など活発な意見が飛び交い、日本食文化、沖縄の食文化についての議論を深めることができました。



意見交換の様子



本プロジェクトは、本年3月にユネスコへ申請、来年11月に登録することを目指し、引き続き国内で議論を行っていきます。

ユネスコ世界無形遺産とは

ユネスコにおいて審査が行われる世界遺産には、「平泉」のような有形遺産や、「小笠原」のような自然遺産の他に、「無形文化遺産保護条約」に基づく無形遺産があります。

無形遺産は、歌舞伎など、形にならない社会的慣習、祭礼行事などが対象になっており、そのうち食に関する分野では、フランスの美食術、地中海料理、メキシコの伝統料理が登録済みです。



「日本食文化の世界遺産化プロジェクト」の概要、検討状況等については、農林水産省のホームページに掲載されていますので、是非御覧ください。

<http://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/index.html>

POINT

平成23年10月28日に農林水産省等が進める「日本食文化の世界遺産化プロジェクト」の検討状況等について説明会を行いました。

「日本食文化の世界遺産化プロジェクト」 沖縄ブロック説明会」の開催